

3章 勤務先の非正社員の戦力化の現状と課題

1. 勤務先における非正社員の活用方針・活用戦略

勤務先における非正社員の活用方針・活用戦略をどのように評価しているのでしょうか。「会社にとって、非正社員は戦力であるという方針を持っている」59.9%（「当てはまる」21.1%+「やや当てはまる」38.8%）は6割弱が評価している。

しかしながら、これ以外について、半数以上の非正社員が評価している活用方針・活用戦略がなく、勤務先における非正社員の活用方針・活用戦略を評価していない者が多く見られる。とくに、評価が厳しい活用方針・活用戦略は、「非正社員の処遇を考えると、正社員とのバランスを意識して決める方針を持っている」70.1%（「あまり当てはまらない」39.2%+「当てはまらない」30.9%）、「今後、会社は非正社員がどの程度増えるのか、見込みを立てている」69.0%（「あまり当てはまらない」34.8%+「当てはまらない」34.2%）、「非正社員の雇用に取り組むための体制（担当者の選任、相談窓口の設置等）を設けている」68.9%（「あまり当てはまらない」34.4%+「当てはまらない」34.5%）、「経営者や管理者は正社員に対して、非正社員の活用の大切さを働きかけている」64.7%（「あまり当てはまらない」34.8%+「当てはまらない」29.9%）、「非正社員に期待する成果・業績について、明確な方針を持っている」63.4%（「あまり当てはまらない」37.0%+「当てはまらない」26.4%）、「上司との面談等によって、非正社員と緊密なコミュニケーションを図る工夫をしている」63.1%（「あまり当てはまらない」33.7%+「当てはまらない」29.4%）の6つで評価が低くなっている（図表15を参照）。

図表15 勤務先における非正社員の活用方針・活用戦略

	N=4,113 (行%)					
	当てはまる	やや当てはまる	あまり当てはまらない	当てはまらない	当てはまらない	当てはまらない
今後、会社は非正社員がどの程度増えるのか、見込みを立てている	31.0	6.4	24.6	34.8	34.2	69.0
会社にとって、非正社員は戦力であるという方針を持っている	59.9	21.1	38.8	21.4	18.7	40.1
非正社員に期待する成果・業績について、明確な方針を持っている	36.6	8.2	28.4	37.0	26.4	63.4
非正社員の処遇を考えると、正社員とのバランスを意識して決める方針を持っている	29.9	4.6	25.3	39.2	30.9	70.1
経営者や管理者は正社員に対して、非正社員の活用の大切さを働きかけている	35.3	7.5	27.8	34.8	29.9	64.7
非正社員の雇用に取り組むための体制（担当者の選任、相談窓口の設置等）を設けている	31.2	7.5	23.7	34.4	34.5	68.9
上司との面談等によって、非正社員と緊密なコミュニケーションを図る工夫をしている	36.8	7.5	29.3	33.7	29.4	63.1
非正社員に会社行事やミーティングに参加するように促している	40.3	11.5	28.8	29.5	30.3	59.8
会社として、非正社員の働きぶりを確認するようにしている	42.8	9.2	33.6	30.6	26.5	57.1
能力向上に努めるように、会社として非正社員に働きかけている	41.0	9.4	31.6	32.2	26.7	58.9

こうした勤務先における非正社員の活用方針・活用戦略について、得点化（得点は「当てはまる」を4点、「やや当てはまる」を3点、「あまり当てはまらない」を2点、「当てはまらない」を1点として、調査数で除した値）してみると（図表16を参照）、第1に、従事している仕事別にみると、管理的な仕事に従事している者及び専門的・技術的な仕事に従事している者で「非正社員に会社行事やミーティングに参加するように促している」、販売の仕事に従事している者で「上司との面談等によって、非正社員と緊密なコミュニケーションを図る工夫をしている」、保安の仕事に従事している者で「会社にとって、非正社員は戦力であるという方針を持っている」、を高く評価している者が多くなっている。

図表 16 得点化してみた「勤務先における非正社員の活用方針・活用戦略」

(左段：件数、右段：点)

		調査数	今後、会社は非正社員がどの程度増えるのか、見込みを立てている	会社にとって、非正社員は戦力であるという方針を持っている	非正社員に期待する成果・業績について、明確な方針を持っている	非正社員の処遇を考えると、正社員とのバランスを意識して決める方針を持っている	経営者や管理者は正社員に対して、非正社員の活用の大切さを働きかけている	非正社員の雇用に取り組むための体制（担当者の選任、相談窓口の設置等）を設けている	上司との面談等によって、非正社員と緊密なコミュニケーションを図る工夫をしている	非正社員に会社行事やミーティングに参加するように促している	会社として、非正社員の働きぶりを確認するようにしている	能力向上に努めるように、会社として非正社員に働きかけている
全体		4113	2.03	2.62	2.18	2.04	2.13	2.04	2.15	2.21	2.25	2.24
従事している仕事	管理的な仕事	42	2.17	2.57	2.24	2.14	2.24	2.00	2.14	2.36	2.12	2.29
	専門的・技術的な仕事	254	1.98	2.61	2.17	2.04	2.15	2.04	2.21	2.35	2.28	2.26
	事務的な仕事	1101	2.08	2.57	2.19	2.06	2.09	2.05	2.23	2.29	2.28	2.25
	販売の仕事	815	2.11	2.70	2.29	2.10	2.25	2.21	2.31	2.31	2.37	2.38
	サービスの仕事	613	2.02	2.72	2.30	2.16	2.26	2.09	2.20	2.21	2.34	2.32
	保安の仕事	57	1.96	2.96	2.16	1.89	2.23	1.91	1.96	2.04	2.32	2.28
	生産工程の仕事	476	1.98	2.57	2.04	1.93	1.96	1.88	1.89	2.09	2.09	2.08
	輸送・機械運転の仕事	79	2.01	2.67	2.11	1.90	2.04	1.78	1.94	2.03	2.05	2.10
	建設・採掘の仕事	20	1.90	2.75	2.35	1.95	2.15	1.85	2.20	2.40	2.30	2.25
	運搬・清掃・包装等の仕事	274	1.95	2.62	2.00	1.92	2.04	1.92	1.91	1.99	2.13	2.08
その他の仕事	382	1.93	2.46	2.08	1.93	2.03	1.95	2.01	2.08	2.13	2.08	
現在の勤務先での勤務年数	5年以上 10年未満	1890	2.0	2.60	2.15	2.01	2.12	2.00	2.13	2.18	2.24	2.21
	10年以上	2223	2.1	2.64	2.21	2.06	2.14	2.07	2.16	2.24	2.27	2.26
平均的な週の労働時間	20時間以上 40時間未満	2325	2.0	2.64	2.22	2.08	2.19	2.09	2.21	2.23	2.31	2.29
	40時間以上	1788	2.0	2.60	2.14	1.99	2.06	1.98	2.07	2.19	2.18	2.16

(注1) 従事している仕事の中で、30件未満の仕事は分析から除外してある。

(注2) 得点は「当てはまる」を4点、「やや当てはまる」を3点、「あまり当てはまらない」を2点、「当てはまらない」を1点として、調査数で除した値。

これに対して、保安の仕事に従事している者で「非正社員に会社行事やミーティングに参加するように促している」、生産工程の仕事に従事している者で「上司との面談等によって、非正社員と緊密なコミュニケーションを図る工夫をしている」、輸送・機械運転の仕事に従事している者及び運搬・清掃・包装等の仕事に従事している者で「上司との面談等によって、非正社員と緊密なコミュニケーションを図る工夫をしている」及び「非正社員に会社行事やミーティングに参加するように促している」、その他の仕事に従事している者で「会社にとって、非正社員は戦力であるという方針を持っている」、を低く評価している者が多くなっている。

また、「今後、会社は非正社員がどの程度増えるのか、見込みを立てている」、「非正社員に期待する成果・業績について、明確な方針を持っている」、「非正社員の処遇を考えると、正社員とのバランスを意識して決める方針を持っている」、「経営者や管理者は正社員に対して、非正社員の活用の大切さを働きかけている」及び「非正社員の雇用に取り組むための体制（担当者の選任、相談窓口の設置等）を設けている」については、従事している仕事に関わらず、評価は変わらない。

第2に、現在の勤務先での勤務年数別にみると、勤務年数に関わらず、第3に、平均的な週の労働時間（残業時間含む）に関わらず、勤務先における非正社員の活用方針・活用戦略に関する評価は変わらない。

2. 有期労働契約の締結時・更新時の判断基準の明示状況と雇用契約の更新状況

(1) 現在の勤務先における有期労働契約の締結時・更新時の判断基準の明示状況

有期労働契約の締結時・更新時に、判断基準を「明示している」が56.8%、「明示していない」が43.2%である（図表17を参照）。

こうした勤務先における有期労働契約の締結時・更新時の判断基準の明示状況について、第1に、従事している仕事別にみると、事務的な仕事に従事している者、販売の仕事に従事している者及び保安の仕事に従事している者で、判断基準を「明示している」、これに対して、サービスの仕事で「明示していない」、と指摘している者が多くなっている。

図表17 勤務先で有期労働契約の締結時における更新の有無や更新の判断基準の明示と現在の勤務先での雇用契約の更新状況
(左段：件数、右段：行%)

	調査数	「有期労働契約の締結時・更新時」の判断基準の明示		雇用契約の更新の有無		調査数	更新回数		
		明示している	明示していない	初回	更新		平均(回)	標準偏差	
全体	4113	56.8	43.2	23.0	77.0	3169	13.6	13.1	
従事している仕事	管理的な仕事	42	54.8	45.2	11.9	88.1	37	13.2	11.5
	専門的・技術的な仕事	254	54.7	45.3	28.3	71.7	182	11.2	8.3
	事務的な仕事	1101	61.0	39.0	24.1	75.9	836	14.0	13.1
	販売の仕事	815	63.1	36.9	14.1	85.9	700	15.4	15.8
	サービスの仕事	613	46.3	53.7	27.7	72.3	443	11.9	9.5
	保安の仕事	57	61.4	38.6	22.8	77.2	44	9.0	6.7
	生産工程の仕事	476	51.9	48.1	27.9	72.1	343	14.8	17.2
	輸送・機械運転の仕事	79	55.7	44.3	22.8	77.2	61	12.5	9.3
	建設・採掘の仕事	20	30.0	70.0	35.0	65.0	13	14.2	7.7
	運搬・清掃・包装等の仕事	274	59.1	40.9	19.3	80.7	221	12.6	10.1
	その他の仕事	382	54.7	45.3	24.3	75.7	289	12.8	10.5
現在の勤務先での勤務年数	5年以上10年未満	1890	55.6	44.4	22.5	77.5	1464	9.5	8.5
	10年以上	2223	57.8	42.2	23.3	76.7	1705	17.2	15.2
平均的な週の労働時間	20時間以上40時間未満	2325	56.0	44.0	25.5	74.5	1733	13.5	11.9
	40時間以上	1788	57.8	42.2	19.7	80.3	1436	13.7	14.4
会社にとって、非正社員は戦力であるという方針を持っている	当てはまる	866	67.2	32.8	17.6	82.4	714	14.2	11.5
	やや当てはまる	1595	61.0	39.0	20.4	79.6	1269	13.5	13.4
	あまり当てはまらない	882	53.4	46.6	27.0	73.0	644	13.3	14.0
	当てはまらない	770	40.1	59.9	29.6	70.4	542	13.8	13.5

(注1) 更新回数は現在の勤務先で雇用契約の更新をしたことがある者の回答。

(注2) 従事している仕事の中で、30件未満の仕事は分析から除外してある。

第2に、現在の勤務先での勤務年数別にみると、勤務年数に関わらず、第3に、平均的な週の労働時間（残業時間含む）に関わらず、判断基準を「明示している」と指摘している者はほぼ同じである。第4に、勤務先における非正社員の活用方針別にみると、会社にとって、非正社員は戦力であるという方針を持っていると考えている者ほど、有期労働契約の締結時・更新時に、判断基準を「明示している」と指摘する者が多くなっている。

(2) 雇用契約の更新状況と更新回数

現在の勤務先での雇用契約は「初回」が23.0%、「更新」が77.0%である。また、雇用契約の更新回数は平均すると、13.6回になる（前掲図表17を参照）。

こうした雇用契約の更新状況と更新回数について、第1に、従事している仕事別にみると、従事しているすべ

ての仕事で「雇用契約の更新」が多くなっており、その傾向は管理的な仕事に従事している者及び販売の仕事に従事している者で顕著に見られる。また、雇用契約の更新回数については、販売の仕事に従事している者及び生産工程の仕事に従事している者で、更新回数が多く、これに対して、保安の仕事で少なくなっている。

第2に、現在の勤務先での勤務年数別にみると、勤務年数に関わらず、「雇用契約の更新状況」の比率はほぼ同じである。他方、当然であるが、勤務年数が長い者ほど、更新回数は多くなっている。

第3に、平均的な週の労働時間(残業時間含む)別にみると、平均的な週の労働時間(残業時間含む)が長い者ほど、「雇用契約の更新」が多くなっているが、更新回数については、平均的な週の労働時間(残業時間含む)に関わらず、更新回数はほぼ同じである。

第4に、勤務先における非正社員の活用方針別にみると、会社にとって、非正社員は戦力であるという方針を持っていると考えている者ほど、「雇用契約の更新」が多くなっているが、更新回数については、方針に関わらず、ほぼ同じである。

3. 現在の勤務先での雇用契約期間

現在の勤務先での雇用契約の期間は、「1か月未満」が0.1%、「1か月以上3か月未満」が2.2%、「3か月以上6か月未満」が5.8%、「6か月以上1年未満」が16.4%、「1年以上3年未満」が15.4%、「3年以上」が25.5%、である。また、「期間の定めはない」が30.7%を占めている(図表18を参照)。

こうした現在の勤務先での雇用契約期間について、第1に、従事している仕事別にみると、管理的な仕事に従事している者で「3年以上」、事務的な仕事に従事している者で「期間の定めはない」、販売の仕事に従事している者及びサービスの仕事に従事している者で「6か月以上1年未満」、保安の仕事に従事している者で「1年以上3年未満」、輸送・機械運転の仕事に従事している者で「3年以上」、生産工程の仕事に従事している者及びその他の仕事に従事している者で「期間の定めはない」、を指摘する者が多くなっている。

第2に、現在の勤務先での勤務年数別にみると、勤務年数に関わらず、第3に、平均的な週の労働時間(残業時間含む)別にみると、平均的な週の労働時間(残業時間含む)に関わらず、現在の勤務先での雇用契約期間に大きな差は見られない。

図表 18 現在の勤務先での雇用契約期間

(左段：件数、右段：行%)

	調査数	1 か月未 満	1 か月未 満 以上 3 か月未 満	3 か月未 満 以上 6 か月未 満	6 か月未 満 以上 1 年未 満	1 年以上 3 年未 満	3 年以上	ない 期間の 定めは	わから ない	
全体	4113	0.1	2.2	5.8	16.4	15.4	25.5	30.7	3.9	
従事している仕事	管理的な仕事	42	-	2.4	9.5	14.3	23.8	33.3	11.9	4.8
	専門的・技術的な仕事	254	-	2.8	4.7	14.2	19.3	26.4	28.3	4.3
	事務的な仕事	1101	-	2.0	4.5	13.4	15.0	27.2	34.2	3.8
	販売の仕事	815	0.4	1.7	8.1	20.9	14.4	23.7	28.3	2.6
	サービスの仕事	613	0.2	1.6	5.7	18.9	16.6	27.7	25.8	3.4
	保安の仕事	57	-	1.8	3.5	15.8	26.3	22.8	26.3	3.5
	生産工程の仕事	476	0.2	3.4	6.1	15.1	13.7	22.9	33.8	4.8
	輸送・機械運転の仕事	79	-	2.5	6.3	13.9	10.1	30.4	31.6	5.1
	建設・採掘の仕事	20	-	-	5.0	20.0	15.0	25.0	35.0	-
	運搬・清掃・包装等の仕事	274	-	2.6	6.2	17.9	13.5	24.1	32.1	3.6
	その他の仕事	382	0.3	2.9	4.7	14.1	16.0	22.5	33.0	6.5
現在の勤務先での 勤務年数	5年以上 10年未満	1890	0.2	2.3	5.8	16.7	15.5	26.9	28.6	4.0
	10年以上	2223	0.1	2.1	5.8	16.1	15.2	24.2	32.5	3.9
平均的な週の労働 時間	20時間以上 40時間未満	2325	0.2	1.8	5.6	16.5	14.6	26.1	31.6	3.7
	40時間以上	1788	0.1	2.7	6.0	16.3	16.3	24.7	29.6	4.3

(注) 従事している仕事の中で、30件未満の仕事は分析から除外してある。

4. 現在の勤務先での初回・更新時の労働条件の説明状況

現在の勤務先での初回・更新時の労働条件の説明について、最初（初回）の雇用契約の締結時に「説明があった」74.0%（「説明があった」40.1%+「ある程度説明があった」33.9%）、「説明がなかった」25.9%（「あまり説明がなかった」15.1%+「説明がなかった」10.8%）で、「説明があった」が大きく上回っている（図表 19 を参照）。

これに対して、雇用契約を更新したことがある者に限定して、雇用契約の更新時に「説明があった」64.8%（「説明があった」35.4%+「ある程度説明があった」29.4%）、「説明がなかった」35.1%（「あまり説明がなかった」19.2%+「説明がなかった」15.9%）で、「説明があった」が上回っているが、初回と比較すれば、約10ポイント低下し、説明がなかったと考えている者が多くなっている。

こうした現在の勤務先での更新時の労働条件の説明状況について、第1に、従事している仕事別にみると、従事しているすべての仕事で雇用契約の更新時に「説明があった」と指摘する者が多くなっているが、その傾向は事務的な仕事に従事している者、販売の仕事に従事している者、輸送・機械運転の仕事に従事している者及びその他の仕事に従事している者で顕著に見られる。

第2に、現在の勤務先での勤務年数別にみると、勤務年数が長い者ほど、「説明があった」と指摘する者が多くなっている。

第3に、平均的な週の労働時間（残業時間含む）別にみると、平均的な週の労働時間（残業時間含む）に関わらず、更新時の労働条件の説明状況に大きな差は見られない。

第4に、勤務先における非正社員の活用方針別にみると、会社にとって、非正社員は戦力であるという方針を持っていると考えている者ほど、概ね、「説明があった」と指摘する者が多くなっている。

図表 19 現在の勤務先での初回・更新時の労働条件の説明

(左段：件数、右段：行%)

		調査数	説明があった					説明がなかった	
			説明があった	説明があつた	ある程度説明があつた	あまり説明がなかった	説明がなかった	説明がなかった	
最初の雇用契約の締結時	全体	4113	74.0	40.1	33.9	15.1	10.8	25.9	
雇用契約の更新時	全体	3169	64.8	35.4	29.4	19.2	15.9	35.1	
	従事している仕事	管理的な仕事	37	59.4	29.7	29.7	13.5	27.0	40.5
		専門的・技術的な仕事	182	62.1	39.6	22.5	20.9	17.0	37.9
		事務的な仕事	836	68.5	38.2	30.3	17.2	14.4	31.6
		販売の仕事	700	69.0	37.7	31.3	17.6	13.4	31.0
		サービスの仕事	443	58.9	28.4	30.5	22.3	18.7	41.0
		保安の仕事	44	61.4	27.3	34.1	22.7	15.9	38.6
		生産工程の仕事	343	56.8	33.5	23.3	23.3	19.8	43.1
		輸送・機械運転の仕事	61	65.6	41.0	24.6	13.1	21.3	34.4
		建設・採掘の仕事	13	53.9	46.2	7.7	23.1	23.1	46.2
		運搬・清掃・包装等の仕事	221	60.6	28.5	32.1	22.6	16.7	39.3
	その他の仕事	289	69.6	38.1	31.5	17.3	13.1	30.4	
	現在の勤務先での勤務年数	5年以上 10年未満	1464	62.0	34.4	27.6	21.4	16.7	38.0
		10年以上	1705	67.3	36.4	31.0	17.4	15.2	32.7
	平均的な週の労働時間	20時間以上 40時間未満	1733	66.9	36.1	30.8	18.8	14.3	33.1
		40時間以上	1436	62.3	34.6	27.7	19.8	17.8	37.7
	会社にとって、非正社員は戦力であるという方針を持っている	当てはまる	714	68.3	45.4	23.0	17.1	14.6	31.7
やや当てはまる		1269	69.1	35.1	34.0	18.3	12.6	30.9	
あまり当てはまらない		644	63.0	31.1	32.0	21.4	15.5	37.0	
当てはまらない		542	52.4	28.4	24.0	21.8	25.8	47.6	

(注1) 雇用契約の更新時については、現在の勤務先で雇用契約を更新した者の回答。

(注2) 従事している仕事の中で、30件未満の仕事は分析から除外してある。

5. 現在の勤務先での無期契約への転換希望・転換を希望する理由・希望しない理由

(1) 現在の勤務先での無期契約への転換希望

現在の勤務先での無期契約（期間の定めのない雇用契約）に転換することを「希望している」は50.1%、「希望していない」は49.9%、で意見は大きく2つに分かれている（図表20を参照）。

こうした現在の勤務先での無期契約への転換希望について、第1に、従事している仕事別にみると、事務的な仕事に従事している者で、現在の勤務先で無期契約（期間の定めのない雇用契約）に転換することを「希望している」者が多くなっている。これに対して、サービスの仕事に従事している者及び保安の仕事に従事している者で、「希望しない」者が多くなっている。

第2に、現在の勤務先での勤務年数別にみると、勤務年数が長い者ほど、第3に、平均的な週の労働時間（残業時間含む）別にみると、平均的な週の労働時間が長い者ほど、無期契約に転換することを「希望している」者が多くなっている。

第4に、現在している仕事内容と正社員の仕事内容との関係別にみると、正社員でもまったく同じ内容の仕事をしている人がいると考えている者ほど、第5に、勤務先における非正社員の活用方針別にみると、会社にとって、非正社員は戦力であるという方針を持っていると考えている者ほど、無期契約に転換することを「希望している」者が多くなっている。

図表 20 現在の勤務先での無期契約への転換希望・正社員として勤務する希望

(左段：件数、右段：行%)

	無期契約の希望			正社員への希望					
	調査数	希望している	希望していない	調査数	正社員として働きたい	現在の勤務先で正社員として働きたい	転職したい	正社員として他の会社に正社員として働きたい	正社員としての勤務は希望していない
全体	2849	50.1	49.9	4113	39.6	19.7	19.9	60.4	
従事している仕事	管理的な仕事	37	56.8	43.2	42	64.3	40.5	23.8	35.7
	専門的・技術的な仕事	182	46.2	53.8	254	44.9	24.8	20.1	55.1
	事務的な仕事	725	58.5	41.5	1101	48.5	28.1	20.4	51.5
	販売の仕事	584	50.9	49.1	815	32.1	13.5	18.7	67.9
	サービスの仕事	455	40.7	59.3	613	34.1	15.2	18.9	65.9
	保安の仕事	42	40.5	59.5	57	31.6	12.3	19.3	68.4
	生産工程の仕事	315	52.1	47.9	476	38.4	18.3	20.2	61.6
	輸送・機械運転の仕事	54	55.6	44.4	79	53.2	34.2	19.0	46.8
	建設・採掘の仕事	13	53.8	46.2	20	45.0	15.0	30.0	55.0
	運搬・清掃・包装等の仕事	186	47.3	52.7	274	32.5	13.1	19.3	67.5
その他の仕事	256	43.0	57.0	382	37.2	15.7	21.5	62.8	
現在の勤務先での勤務年数	5年以上 10年未満	1349	47.7	52.3	1890	41.0	19.6	21.4	59.0
	10年以上	1500	52.3	47.7	2223	38.5	19.9	18.6	61.5
平均的な週の労働時間	20時間以上 40時間未満	1591	47.0	53.0	2325	30.1	13.2	16.9	69.9
	40時間以上	1258	54.0	46.0	1788	52.0	28.2	23.8	48.0
現在している仕事内容と正社員の仕事内容との関係	正社員でもまったく同じ内容の仕事をしている人がある	797	54.5	45.5	1142	47.7	26.2	21.5	52.3
	正社員でも、ほぼ同じ内容の仕事をしている人がある	1239	49.5	50.5	1762	38.0	18.2	19.8	62.0
	正社員には、同じ内容の仕事をしている人はいない	813	46.7	53.3	1209	34.3	15.9	18.4	65.7

(注 1) 無期契約への希望は勤務先での現在の雇用契約の期間が「期間の定めはない」と回答している者を除外している。

(注 2) 従事している仕事の中で、30件未満の仕事は分析から除外してある。

(2) 無期契約に転換を希望する理由

現在の勤務先での無期契約に転換を希望する理由は、「雇用が安定し、安定して働けるようになるから」(75.0%)と「慣れた仕事を続けることができるから」(61.0%)が多くを占め、「現在の勤務先や仕事に愛着があるから」(20.0%)、「労働条件や処遇がよくなるから」(14.7%)、がこれに続いている(図表 21 を参照)。

こうした無期契約に転換を希望する理由について、第 1 に、従事している仕事別にみると、専門的・技術的な仕事に従事している者で「労働条件や処遇がよくなるから」、「自身のスキルが向上するから」、「現在の勤務先や仕事に愛着があるから」、「長期的なキャリア形成ができるから」及び「仕事に対するモチベーションが向上するから」、サービスの仕事に従事している者、輸送・機械運転の仕事に従事している者及び運搬・清掃・包装等の仕事に従事している者で「労働条件や処遇がよくなるから」、を指摘する者が多くなっている。また、「雇用が安定し、安定して働けるようになるから」は従事しているすべての仕事で指摘する者が多くなっているが、その傾向は、事務的な仕事に従事する者、生産工程の仕事に従事する者、運搬・清掃・包装等の仕事に従事する者及びその他の仕事に従事する者で顕著に見られる。同様に、「慣れた仕事を続けることができるから」についても従事しているすべての仕事で指摘する者が多くなっているが、その傾向は、販売の仕事に従事している者及び運搬・清掃・包装等の仕事に従事する者で顕著に見られる。

第 2 に、現在の勤務先での勤務年数別にみると、勤務年数が長い者ほど、「慣れた仕事を続けることができるから」を指摘する者が多くなっている。

第3に、平均的な週の労働時間（残業時間含む）別にみると、平均的な週の労働時間が長い者ほど、「雇用が安定し、安定して働けるようになるから」及び「労働条件や処遇がよくなるから」、これに対して、労働時間が短い者ほど、「慣れた仕事を続けることができるから」及び「現在の勤務先や仕事に愛着があるから」、を指摘する者が多くなっている。

第4に、勤務先における非正社員の活用方針別にみると、会社にとって、非正社員は戦力であるという方針を持っていると考えている者ほど、無期契約に転換を希望する理由が広範囲に広がっている。

図表 21 無期契約に転換を希望する理由

（左段：件数、右段：行%（複数回答））

	調査数	雇用が安定し、安定して働けるようになるから	慣れた仕事を続けることができるから	教育訓練を受ける機会が増えるから	自身のスキルが向上するから	より高度な仕事を任せられるから	労働条件や処遇がよくなるから	現在の勤務先や仕事に愛着があるから	現在の勤務先や仕事に愛着があるから	長期的なキャリア形成ができるから	仕事に対するモチベーションが向上するから	その他
全体	1427	75.0	61.0	2.7	7.9	3.4	14.7	20.0	7.4	9.5	3.0	
従事している仕事	管理的な仕事	21	85.7	61.9	9.5	14.3	4.8	19.0	14.3	4.8	14.3	-
	専門的・技術的な仕事	84	66.7	58.3	6.0	20.2	7.1	15.5	32.1	14.3	16.7	1.2
	事務的な仕事	424	78.1	61.6	2.4	4.7	2.8	15.1	16.7	5.2	9.4	3.3
	販売の仕事	297	70.7	66.3	2.7	8.8	2.0	11.4	23.2	7.1	7.7	4.0
	サービスの仕事	185	73.0	57.3	2.7	14.1	6.5	17.8	28.6	10.3	12.4	1.6
	保安の仕事	17	88.2	52.9	-	5.9	-	29.4	17.6	11.8	5.9	5.9
	生産工程の仕事	164	76.8	56.1	1.2	7.3	3.7	12.2	12.8	9.1	7.9	2.4
	輸送・機械運転の仕事	30	70.0	46.7	-	6.7	-	30.0	13.3	-	13.3	3.3
	建設・採掘の仕事	7	57.1	71.4	28.6	-	14.3	14.3	28.6	42.9	28.6	14.3
	運搬・清掃・包装等の仕事	88	76.1	67.0	2.3	1.1	1.1	18.2	19.3	5.7	5.7	3.4
その他の仕事	110	79.1	60.0	1.8	4.5	3.6	10.0	14.5	4.5	6.4	2.7	
現在の勤務先での勤務年数	5年以上 10年未満	643	76.4	59.9	2.3	8.9	3.9	14.8	19.0	8.4	10.0	2.8
	10年以上	784	73.9	62.0	2.9	7.1	3.1	14.7	20.9	6.5	9.1	3.2
平均的な週の労働時間	20時間以上 40時間未満	748	70.3	64.2	2.3	7.6	2.4	11.9	22.9	6.8	8.8	2.7
	40時間以上	679	80.1	57.6	3.1	8.2	4.6	17.8	16.9	8.0	10.2	3.2
会社にとって、非正社員は戦力であるという方針を持っている	当てはまる	309	78.0	70.6	4.2	12.9	6.1	20.7	28.2	9.7	13.9	2.3
	やや当てはまる	578	75.6	64.4	3.3	8.8	4.2	16.6	22.1	6.9	8.5	2.4
	あまり当てはまらない	287	73.2	51.6	1.4	3.8	1.0	9.4	13.9	7.0	9.1	4.2
	当てはまらない	253	71.9	52.6	0.8	4.3	1.2	9.1	12.3	5.9	6.7	4.0

（注1）無期契約に転換を希望している者の回答。

（注2）従事している仕事の中で、30件未満の仕事は分析から除外してある。

（3）無期契約に転換を希望しない理由

他方、無期契約に転換を希望しない理由は、「現在の立場の方が働きやすいから」（49.1%）、「契約が無期になることにメリットを感じないから」（42.8%）、「労働条件や処遇が変わらないから」（37.1%）の3つが多くを占めている。次いで、「仕事量や責任が増える可能性があるから」（16.3%）と「現在の勤務先で長期に働くことは望まないから」（15.4%）がこれに続いている（図表 22 を参照）。

こうした無期契約に転換を希望しない理由について、第1に、従事している仕事別にみると、販売の仕事に従事している者で「契約が無期になることにメリットを感じないから」及び「仕事量や責任が増える可能性があるから」、サービスの仕事に従事している者で「現在の立場の方が働きやすいから」、生産工程の仕事に従事している者で「労働条件や処遇が変わらないから」、「現在の勤務先で長期に働くことは望まないから」及び「仕事量や責任が増える可能性があるから」、運搬・清掃・包装等の仕事に従事している者で「現在の勤務先で長期に働くことは望

まないから」、を指摘する者が多くなっている。

第2に、現在の勤務先での勤務年数別にみると、勤務年数が高い者ほど、「契約が無期になることにメリットを感じないから」、これに対して、勤務年数が短い者ほど、「現在の勤務先で長期に働くことは望まないから」、を指摘する者が多くなっている。

第3に、平均的な週の労働時間（残業時間含む）別にみると、平均的な週の労働時間が長い者ほど「契約が無期になることにメリットを感じないから」、これに対して、労働時間が短い者ほど、「現在の立場の方が働きやすいから」、を指摘する者が多くなっている。

第4に、現在している仕事内容と正社員の仕事内容との関係別にみると、正社員でもまったく同じ内容の仕事をしている人がいると考えている者ほど、「契約が無期になることにメリットを感じないから」、これに対して、正社員には、同じ内容の仕事をしている人はいないと考えている者ほど、「現在の立場の方が働きやすいから」、を指摘する者が多くなっている。

図表 22 無期契約に転換を希望しない理由

(左段：件数、右段：行% (複数回答))

	調査数	現在の立場の方が働きやすいから	契約が無期になることにメリットを感じないから	労働条件や処遇が変わらないから	現在の勤務先で長期に働くことは望まないから	仕事量や責任が増える可能性があるから	職場の人間関係が悪くなるから	その他	
全体	1422	49.1	42.8	37.1	15.4	16.3	3.1	4.1	
従事している仕事	管理的な仕事	16	37.5	68.8	18.8	12.5	18.8	6.3	12.5
	専門的・技術的な仕事	98	48.0	46.9	39.8	18.4	14.3	5.1	8.2
	事務的な仕事	301	48.5	41.5	36.5	13.3	13.6	1.3	5.3
	販売の仕事	287	42.5	51.2	39.4	13.6	19.9	1.7	2.8
	サービスの仕事	270	58.9	38.9	38.1	15.6	15.9	1.9	1.5
	保安の仕事	25	64.0	48.0	40.0	8.0	4.0	-	4.0
	生産工程の仕事	151	45.7	40.4	46.4	22.5	18.5	7.9	3.3
	輸送・機械運転の仕事	24	50.0	50.0	29.2	12.5	25.0	-	-
	建設・採掘の仕事	6	33.3	66.7	50.0	50.0	50.0	-	-
	運搬・清掃・包装等の仕事	98	44.9	40.8	35.7	23.5	16.3	5.1	6.1
その他の仕事	146	51.4	30.8	24.0	8.9	13.7	4.8	6.2	
現在の勤務先での勤務年数	5年以上 10年未満	706	49.0	40.1	38.7	18.7	17.0	4.0	4.0
	10年以上	716	49.2	45.4	35.6	12.2	15.6	2.2	4.3
平均的な週の労働時間	20時間以上 40時間未満	843	53.5	39.4	36.1	13.5	15.9	3.2	3.2
	40時間以上	579	42.7	47.7	38.7	18.1	16.9	2.9	5.5
現在している仕事内容と正社員の仕事内容との関係	正社員でもまったく同じ内容の仕事をしている人がいる	363	40.8	44.6	35.3	19.3	13.5	5.5	5.8
	正社員でも、ほぼ同じ内容の仕事をしている人がいる	626	51.1	43.8	40.3	15.2	19.2	2.4	4.2
	正社員には、同じ内容の仕事をしている人はいない	433	53.1	39.7	34.2	12.5	14.5	2.1	2.8

(注1) 無期契約に転換を希望していない者の回答。

(注2) 従事している仕事の中で、30件未満の仕事は分析から除外してある。

6. 正社員として勤務する希望・正社員としての勤務を希望しない理由

(1) 正社員として勤務する希望

正社員として勤務したいという希望についてみると、「正社員として働きたい」は39.6%、「正社員としての勤務は希望していない」は60.4%であり、正社員希望は約4割、正社員非希望は約6割という構成である。また、正社員希望の内訳は、「現在の勤務先で正社員として働きたい」は19.7%、「正社員として他の会社に転職したい」

は19.9%、であり、現在の勤務先と他の会社が半数ずつ占めている（前掲図表20を参照）。

こうした正社員として勤務する希望について、第1に、従事している仕事別にみると、管理的な仕事に従事している者及び輸送・機械運転の仕事に従事している者で「正社員として働きたい（現在の勤務先で正社員として働きたい）」、これに対して、販売の仕事に従事している者、サービスの仕事に従事している者、保安の仕事に従事している者及び運搬・清掃・包装等の仕事に従事している者で「正社員としての勤務は希望していない」、を指摘する者が多くなっている。

第2に、現在の勤務先での勤務年数別にみると、勤務年数に関わらず、正社員への希望はほぼ同じである。これに対して、第3に、平均的な週の労働時間（残業時間含む）別にみると、平均的な週の労働時間が長い者ほど、「現在の勤務先で正社員として働きたい」及び「正社員として他の会社に転職したい」、を指摘する者が多くなっている。つまり、正社員希望は勤務年数には関係なく、働いている時間と関係があることがわかる。

第4に、現在している仕事内容と正社員の仕事内容との関係別にみると、正社員でもまったく同じ内容の仕事をしている人がいると考えている者ほど、「現在の勤務先で正社員として働きたい」及び「正社員として他の会社に転職したい」、を指摘する者が多くなっている。

（2）正社員としての勤務を希望しない理由

正社員としての勤務を希望しない者は、どのような理由で、希望しないのであろうか。その理由は、「労働時間を増やしたくないから」（42.8%）、「正社員になると責任が重くなるから」（39.1%）、「家庭との両立が難しくなるから」（37.6%）が多くを占め、「異動や転勤がないほうがよいから」（29.2%）、「現在の仕事が気に入っているから」（20.2%）、がこれに続いている（図表23を参照）。

こうした正社員としての勤務を希望しない理由について、第1に、年齢別にみると、年齢が低い者ほど、「正社員になると責任が重くなるから」、「家庭との両立が難しくなるから」及び「異動や転勤がないほうがよいから」、これに対して、年齢が高い者ほど、「正社員にならないほうが高齢になっても働けるから」、を指摘する者が多くなっている。

第2に、従事している仕事別にみると、専門的・技術的な仕事に従事している者で「現在の仕事が気に入っているから」及び「正社員にならないほうが高齢になっても働けるから」、事務的な仕事に従事している者で「労働時間を増やしたくないから」、販売の仕事に従事している者で「異動や転勤がないほうがよいから」、サービスの仕事に従事している者で「家庭との両立が難しくなるから」及び「税や保険料控除の範囲で働きたいから」、保安の仕事に従事している者で「正社員になると責任が重くなるから」、「労働時間を増やしたくないから」及び「現在の会社に縛られたくないから」、輸送・機械運転の仕事に従事している者で「現在の仕事が気に入っているから」、「正社員になると責任が重くなるから」及び「労働時間を増やしたくないから」、運搬・清掃・包装等の仕事に従事している者で「正社員になると責任が重くなるから」及び「労働時間を増やしたくないから」、を指摘する者が多くなっている。

第3に、現在の勤務先での勤務年数別にみると、勤務年数が短い者ほど、「家庭との両立が難しくなるから」を指摘する者が多くなっている。

第4に、平均的な週の労働時間（残業時間含む）別にみると、平均的な週の労働時間が長い者ほど、「正社員になると責任が重くなるから」、「異動や転勤がないほうがよいから」、「正社員にならないほうが高齢になっても働けるから」及び「現在の会社に縛られたくないから」、これに対して、労働時間が短い者ほど、「労働時間を増やしたくないから」、「家庭との両立が難しくなるから」及び「税や保険料控除の範囲で働きたいから」、を指摘する者が多くなっている。

図表 23 正社員としての勤務を希望しない理由

(左段：件数、右段：行% (複数回答))

	調査数	現在の仕事が入っているから	正社員になると責任が重くなるから	労働時間を増やしたくないから	家庭との両立が難しくなるから	異動や転勤がないほうがよいから	正社員にならないほうが高年齢になっても働けるから	現在の会社に縛られたくないから	税や保険料控除の範囲で働きたいから	その他	
全体	2484	20.2	39.1	42.8	37.6	29.2	12.0	17.1	13.9	4.6	
年齢	40～44歳	562	21.2	44.5	42.2	43.2	34.5	5.3	19.6	10.9	3.2
	45～49歳	687	22.1	40.3	43.7	40.9	31.0	8.7	17.3	15.0	2.3
	50～54歳	644	19.7	38.8	43.0	37.7	27.2	10.9	17.9	15.5	5.3
	55～59歳	591	17.6	32.8	42.0	28.3	24.4	23.5	13.5	13.9	7.8
従事している仕事	管理的な仕事	15	13.3	33.3	33.3	20.0	33.3	6.7	6.7	13.3	13.3
	専門的・技術的な仕事	140	27.9	37.9	37.1	28.6	15.7	20.0	22.1	10.0	4.3
	事務的な仕事	567	19.4	40.4	46.4	41.1	26.8	10.9	12.5	14.3	4.6
	販売の仕事	553	16.6	40.1	43.2	40.5	42.0	9.4	14.5	15.4	4.3
	サービスの仕事	404	24.8	32.7	42.3	45.5	28.7	10.6	17.6	17.8	4.2
	保安の仕事	39	25.6	48.7	46.2	15.4	23.1	17.9	28.2	5.1	2.6
	生産工程の仕事	293	15.0	39.9	43.3	34.1	20.1	14.7	22.5	12.6	6.1
	輸送・機械運転の仕事	37	27.0	45.9	45.9	18.9	24.3	13.5	8.1	-	5.4
	建設・採掘の仕事	11	27.3	81.8	54.5	36.4	36.4	36.4	36.4	9.1	-
	運搬・清掃・包装等の仕事	185	22.2	46.5	45.4	29.2	24.9	11.9	26.5	12.4	4.3
その他の仕事	240	21.3	34.2	33.3	32.9	30.0	13.3	15.4	12.1	4.2	
現在の勤務先での勤務年数	5年以上 10年未満	1116	18.9	39.2	44.3	42.1	27.5	11.8	19.2	15.1	4.6
	10年以上	1368	21.3	39.0	41.5	33.9	30.6	12.2	15.4	13.0	4.6
平均的な週の労働時間	20時間以上 40時間未満	1626	20.0	34.7	49.0	46.7	26.8	9.8	14.6	20.0	3.8
	40時間以上	858	20.6	47.4	30.9	20.3	33.8	16.2	21.8	2.3	6.1

(注1) 正社員としての勤務を希望しない者の回答。

(注2) 従事している仕事の中で、30件未満の仕事は分析から除外してある。

7. 「会社（勤務先）があなたに求める役割」を知らせる仕組みの評価

「会社（勤務先）があなたに求める役割」を「知らされている」は56.7%（「知らされている」14.2%＋「ある程度知らされている」42.5%）、「知らされていない」は43.2%（「あまり知らされていない」27.5%＋「知らされていない」15.7%）であり、「知らされている」が上回っている（図表24を参照）。

こうした「会社（勤務先）があなたに求める役割」を知らせる仕組みの評価について、第1に、従事している仕事別にみると、管理的な仕事に従事している者及び保安の仕事に従事している者で「会社があなたに求める役割」を「知らされている」、これに対して、運搬・清掃・包装等の仕事に従事している者及び生産工程の仕事に従事している者で、「知らされていない」、と指摘する者が多くなっている。

第2に、現在の勤務先の勤務年数別にみると、勤務年数が長い者ほど、「会社があなたに求める役割」を「知らされている」と指摘する者が多くなっている。これに対して、第3に、平均的な週の労働時間（残業時間含む）別にみると、週の労働時間に関わらず、知らせる仕組みの評価は変わらない。

第4に、勤務先における非正社員の活用方針別にみると、会社にとって、非正社員は戦力であるという方針を持っていると考えている者ほど、「会社があなたに求める役割」を「知らされている」と指摘する者が多くなっている。

図表 24 「会社（勤務先）があなたに求める役割」を「知らせる」仕組みの評価・会社（勤務先）が「あなたに求める役割」にあなたが応えている割合

(左段：件数、中段：行%、右段：標準偏差)

	調査数	「会社（勤務先）があなたに求める役割」について周知の程度						会社が「あなたに求める役割」にあなたが応えている割合		
		知らされている	知らされている	ある程度知らされている	あまり知らされていない	知らされていない	知らされていない	平均(%)	標準偏差	
全体	4113	56.7	14.2	42.5	27.5	15.7	43.2	77.0	21.3	
従事している仕事	管理的な仕事	42	69.1	31.0	38.1	11.9	19.0	30.9	79.3	21.9
	専門的・技術的な仕事	254	62.6	24.0	38.6	23.2	14.2	37.4	82.0	20.3
	事務的な仕事	1101	60.1	14.2	45.9	25.4	14.5	39.9	78.9	20.6
	販売の仕事	815	63.0	13.4	49.6	28.1	9.0	37.1	76.5	19.6
	サービスの仕事	613	55.5	13.7	41.8	28.2	16.3	44.5	77.5	20.4
	保安の仕事	57	66.6	14.0	52.6	21.1	12.3	33.4	78.5	17.8
	生産工程の仕事	476	46.6	9.2	37.4	30.3	23.1	53.4	74.8	22.5
	輸送・機械運転の仕事	79	54.5	16.5	38.0	29.1	16.5	45.6	77.2	24.5
	建設・採掘の仕事	20	65.0	10.0	55.0	10.0	25.0	35.0	78.1	26.0
	運搬・清掃・包装等の仕事	274	43.4	10.6	32.8	35.0	21.5	56.5	72.2	24.2
	その他の仕事	382	51.9	17.3	34.6	28.8	19.4	48.2	73.9	23.5
現在の勤務先での勤務年数	5年以上 10年未満	1890	53.0	12.2	40.8	29.6	17.4	47.0	76.3	21.5
	10年以上	2223	60.0	15.9	44.0	25.8	14.3	40.0	77.6	21.2
平均的な週の労働時間	20時間以上 40時間未満	2325	58.9	14.2	44.7	27.6	13.5	41.1	77.2	20.4
	40時間以上	1788	54.0	14.3	39.7	27.5	18.5	46.0	76.7	22.5
会社にとって、非正社員は戦力であるという方針を持っている	当てはまる	866	73.6	26.6	47.0	17.8	8.7	26.4	81.9	18.2
	やや当てはまる	1595	64.3	13.2	51.1	26.6	9.2	35.7	77.8	19.0
	あまり当てはまらない	882	45.1	7.8	37.3	38.0	16.9	54.9	73.9	22.0
	当てはまらない	770	35.7	9.9	25.8	28.6	35.7	64.3	73.3	26.5

(注) 従事している仕事の中で、30件未満の仕事は分析から除外してある。

8. 会社（勤務先）が「あなたに求める役割」にあなたが応えている割合

会社（勤務先）が「あなたに求める役割」にあなたが応えている割合は平均すると、77.0%になる（前掲図表 24 を参照）。

こうした会社が「あなたに求める役割」にあなたが応えている割合について、第 1 に、従事している仕事別にみると、専門的・技術的な仕事で、応えている割合が高く、これに対して、運搬・清掃・包装等の仕事で、低くなっている。

第 2 に、現在の勤務先の勤務年数別にみると、勤務年数に関わらず、第 3 に、平均的な週の労働時間（残業時間含む）別にみると、平均的な週の労働時間の長さに関わらず、応えている割合はほぼ同じである。

第 4 に、勤務先における非正社員の活用方針別にみると、会社にとって、非正社員は戦力であるという方針を持っていると考えている者ほど、応えている割合が高くなっている。

9. 会社（勤務先）・上司が「あなたに期待する役割」の明確化

会社・上司は「あなたに期待する役割」をこれまで以上に明確に示すべきであると「思っている」55.6%（「そ

う思う」16.1%+「ややそう思う」39.5%)、「思っていない」44.4%（「あまりそう思わない」37.4%+「そう思わない」7.0%）であり、「思っている」が上回っている（図表25を参照）。

こうした「あなたに期待する役割」の明確化について、第1に、従事している仕事別にみると、管理的な仕事に従事している者で、「期待する役割」の明確化が必要であると考えている者が多くなっている。これに対して、輸送・機械運転の仕事に従事している者で明確化が必要でないと考えている者が多くなっている。

第2に、現在の勤務先の勤務年数別にみると、勤務年数に関わらず、「期待する役割」の明確化の程度はほぼ同じである。これに対して、第3に、平均的な週の労働時間（残業時間含む）別にみると、週の労働時間が長い者ほど、「期待する役割」の明確化が必要であると考えている者が多くなっている。

第4に、現在している仕事内容と正社員の仕事内容との関係別にみると、正社員でもまったく同じ内容の仕事をしている人がいると考えている者ほど、「期待する役割」の明確化が必要であると考えている者が多くなっている。

図表25 「あなたに期待する役割」の明確化

(左段：件数、右段：行%)

	調査数	その思う					その思わない	
		その思う	ややそう思う	あまりそう思わない	その思わない			
全体	4113	55.6	16.1	39.5	37.4	7.0	44.4	
従事している仕事	管理的な仕事	42	73.8	38.1	35.7	16.7	9.5	26.2
	専門的・技術的な仕事	254	55.9	18.5	37.4	38.2	5.9	44.1
	事務的な仕事	1101	60.4	17.8	42.6	33.6	6.0	39.6
	販売の仕事	815	53.2	13.6	39.6	41.2	5.5	46.7
	サービスの仕事	613	55.6	16.0	39.6	38.5	5.9	44.4
	保安の仕事	57	54.4	19.3	35.1	35.1	10.5	45.6
	生産工程の仕事	476	53.6	16.8	36.8	37.2	9.2	46.4
	輸送・機械運転の仕事	79	46.8	10.1	36.7	41.8	11.4	53.2
	建設・採掘の仕事	20	60.0	25.0	35.0	10.0	30.0	40.0
	運搬・清掃・包装等の仕事	274	48.9	12.0	36.9	43.8	7.3	51.1
	その他の仕事	382	53.9	14.9	39.0	36.9	9.2	46.1
現在の勤務先での勤務年数	5年以上 10年未満	1890	56.8	16.2	40.6	35.7	7.5	43.2
	10年以上	2223	54.6	16.0	38.6	38.9	6.5	45.4
平均的な週の労働時間	20時間以上 40時間未満	2325	52.3	12.4	39.9	40.9	6.8	47.7
	40時間以上	1788	59.9	20.9	39.0	32.9	7.2	40.1
現在している仕事内容と正社員の仕事内容との関係	正社員でもまったく同じ内容の仕事をしている人がいる	1142	60.3	24.0	36.3	32.0	7.6	39.7
	正社員でも、ほぼ同じ内容の仕事をしている人がいる	1762	56.4	12.5	43.8	38.4	5.3	43.6
	正社員には、同じ内容の仕事をしている人はいない	1209	50.1	13.8	36.3	41.1	8.8	49.9

(注) 従事している仕事の中で、30件未満の仕事は分析から除外してある。

10. 会社（勤務先）の管理職に対する「非正社員を活用することを目的とした情報提供」

会社の管理職に対する「非正社員を活用することを目的とした情報提供」を「行っていると思う」39.5%（「行っていると思う」5.6%+「ある程度行っていると思う」33.9%）、「行っていないと思う」60.5%（「あまり行っていないと思う」41.4%+「行っていないと思う」19.1%）であり、管理職に対する「非正社員を活用することを目的とした情報提供」が行われていないと考えている者が多くなっている（図表26を参照）。

こうした会社の管理職に対する「非正社員を活用することを目的とした情報提供」について、第1に、就いている仕事別にみると、従事しているすべての仕事で「管理職に対する「非正社員を活用することを目的とした情報

提供」が行われていない」と考えている者が多くなっているが、とくに、その傾向は輸送・機械運転の仕事に従事している者、運搬・清掃・包装等の仕事に従事している者、生産工程の仕事に従事している者及び保安の仕事に従事している者で顕著に見られる。

第2に、現在の勤務先の勤務年数別にみると、勤務年数に関わらず、管理職に対する「非正社員を活用することを目的とした情報提供」が行われていないと考えている者の比率はほぼ同じである。

これに対して、第3に、平均的な週の労働時間（残業時間含む）別にみると、週の労働時間が長い者ほど、管理職に対する「非正社員を活用することを目的とした情報提供」が行われていないと考えている者が多くなっている。

第4に、勤務先における非正社員の活用方針別にみると、会社にとって、非正社員は戦力であるという方針を持っていると考えていない者ほど、管理職に対する「非正社員を活用することを目的とした情報提供」が行われていないと考えている者が多くなっている。

図表 26 会社の管理職に対する「非正社員を活用することを目的とした情報提供」

(左段：件数、右段：行%)

	調査数	行っていると思う	行っていないと思う					
			行っていると思う	ある程度行っていると思う	あまり行っていないと思う	行っていないと思う		
全体	4113	39.5	5.6	33.9	41.4	19.1	60.5	
従事している仕事	管理的な仕事	42	42.8	9.5	33.3	42.9	14.3	57.2
	専門的・技術的な仕事	254	44.9	8.3	36.6	37.4	17.7	55.1
	事務的な仕事	1101	39.4	5.7	33.7	39.9	20.7	60.6
	販売の仕事	815	46.7	6.0	40.7	39.4	13.9	53.3
	サービスの仕事	613	41.0	6.9	34.1	41.9	17.1	59.0
	保安の仕事	57	33.3	3.5	29.8	42.1	24.6	66.7
	生産工程の仕事	476	31.5	3.6	27.9	44.3	24.2	68.5
	輸送・機械運転の仕事	79	30.3	2.5	27.8	50.6	19.0	69.6
	建設・採掘の仕事	20	20.0	10.0	10.0	55.0	25.0	80.0
	運搬・清掃・包装等の仕事	274	29.2	1.8	27.4	45.6	25.2	70.8
その他の仕事	382	39.5	6.5	33.0	42.4	18.1	60.5	
現在の勤務先での勤務年数	5年以上10年未満	1890	37.8	4.3	33.5	41.7	20.5	62.2
	10年以上	2223	41.0	6.8	34.2	41.2	17.8	59.0
平均的な週の労働時間	20時間以上40時間未満	2325	41.7	5.3	36.4	40.7	17.6	58.3
	40時間以上	1788	36.7	6.1	30.6	42.3	20.9	63.3
会社にとって、非正社員は戦力であるという方針を持っている	当てはまる	866	55.8	12.5	43.3	31.2	13.0	44.2
	やや当てはまる	1595	46.4	4.8	41.6	42.6	11.0	53.6
	あまり当てはまらない	882	27.7	2.2	25.5	53.6	18.7	72.3
	当てはまらない	770	20.6	3.6	17.0	36.4	43.0	79.4

(注) 従事している仕事の中で、30件未満の仕事は分析から除外してある。

11. 「現在の能力や適性」を把握する仕組みの評価

会社（勤務先）が、あなたの「現在の能力や適性」について、どの程度、把握しているのかについてみると、「把握している」58.6%（「把握している」8.6%+「ある程度把握している」50.0%）、「把握していない」41.4%（「あまり把握していない」30.0%+「把握していない」11.4%）であり、「把握している」が上回っている（図表 27 を参照）。

こうした「現在の能力や適性」を把握する仕組みについて、第1に、就いている仕事別にみると、管理的な仕事に従事している者で「現在の能力や適性」を把握していると考えている者が多くなっている。これに対して、運搬・清掃・包装等の仕事に従事している者で「現在の能力や適性」を把握していないと考えている者が多くなっている。

第2に、現在の勤務先の勤務年数別にみると、勤務年数に関わらず、「現在の能力や適性」を把握する仕組みの評価は変わらない。これに対して、第3に、平均的な週の労働時間（残業時間含む）別にみると、平均的な週の労働時間が短い者ほど、「現在の能力や適性」を把握していると考えている者が多くなっている。

第4に、勤務先における非正社員の活用方針別にみると、会社にとって、非正社員は戦力であるという方針を持っていると考えている者ほど、「現在の能力や適性」を把握していると考えている者が多くなっている。

図表 27 「現在の能力や適性」を把握する仕組み

(左段：件数、右段：行%)

	調査数	把握している	把握している		把握していない		把握していない	
			把握している	ある程度把握している	あまり把握していない	把握していない		
全体	4113	58.6	8.6	50.0	30.0	11.4	41.4	
従事している仕事	管理的な仕事	42	73.8	16.7	57.1	19.0	7.1	26.1
	専門的・技術的な仕事	254	67.8	15.4	52.4	24.0	8.3	32.3
	事務的な仕事	1101	59.4	7.8	51.6	28.8	11.8	40.6
	販売の仕事	815	61.1	8.0	53.1	30.4	8.5	38.9
	サービスの仕事	613	60.0	9.6	50.4	29.0	10.9	39.9
	保安の仕事	57	57.9	7.0	50.9	31.6	10.5	42.1
	生産工程の仕事	476	51.9	6.1	45.8	34.9	13.2	48.1
	輸送・機械運転の仕事	79	58.2	11.4	46.8	29.1	12.7	41.8
	建設・採掘の仕事	20	60.0	20.0	40.0	15.0	25.0	40.0
	運搬・清掃・包装等の仕事	274	49.3	5.5	43.8	32.8	17.9	50.7
	その他の仕事	382	56.2	9.9	46.3	31.7	12.0	43.7
現在の勤務先での勤務年数	5年以上10年未満	1890	56.3	7.5	48.9	31.6	12.0	43.7
	10年以上	2223	60.5	9.6	50.9	28.6	10.9	39.5
平均的な週の労働時間	20時間以上40時間未満	2325	61.4	8.3	53.1	28.5	10.2	38.6
	40時間以上	1788	55.0	9.1	45.9	31.9	13.0	45.0
会社にとって、非正社員は戦力であるという方針を持っている	当てはまる	866	75.8	17.8	58.0	18.5	5.8	24.2
	やや当てはまる	1595	66.2	8.0	58.2	27.1	6.6	33.8
	あまり当てはまらない	882	47.6	2.9	44.7	42.9	9.5	52.4
	当てはまらない	770	36.2	6.2	30.0	34.0	29.7	63.8

(注) 従事している仕事の中で、30件未満の仕事は分析から除外してある。

12. 「働き方の希望」を把握する仕組みの評価

会社（勤務先）が、あなたの「働き方の希望」について、どの程度、把握しているのかについてみると、「把握している」52.5%（「把握している」10.0%+「ある程度把握している」42.5%）、「把握していない」47.6%（「あまり把握していない」33.1%+「把握していない」14.5%）であり、「把握している」が、若干、上回っている（図表28を参照）。

こうした「働き方の希望」を把握する仕組みについて、第1に、従事している仕事別にみると、専門的・技術的な仕事に従事している者で「働き方の希望」を把握していると考えている者が多くなっている。これに対して、運搬・清掃・包装等の仕事に従事している者で「働き方の希望」を把握していないと考えている者が多くなっている。

第2に、現在の勤務先の勤務年数別にみると、勤務年数の長さに関わらず、「働き方の希望」を把握する仕組みの評価は変わらない。これに対して、第3に、平均的な週の労働時間（残業時間含む）別にみると、週の労働時間が短い者ほど、「働き方の希望」を把握していると考えている者が多くなっている。

第4に、勤務先における非正社員の活用方針別にみると、会社にとって、非正社員は戦力であるという方針を持っていると考えている者ほど、「働き方の希望」を把握していると考えている者が多くなっている。

図表 28 「働き方の希望」を把握する仕組み

(左段：件数、右段：行%)

	調査数	把握している	把握していない				把握していない	
			把握している	ある程度把握している	あまり把握していない	把握していない		
全体	4113	52.5	10.0	42.5	33.1	14.5	47.6	
従事している仕事	管理的な仕事	42	47.7	16.7	31.0	35.7	16.7	52.4
	専門的・技術的な仕事	254	57.5	13.4	44.1	29.5	13.0	42.5
	事務的な仕事	1101	53.5	10.1	43.4	32.2	14.3	46.5
	販売の仕事	815	56.2	10.7	45.5	31.7	12.1	43.8
	サービスの仕事	613	55.3	10.6	44.7	32.3	12.4	44.7
	保安の仕事	57	52.7	8.8	43.9	36.8	10.5	47.3
	生産工程の仕事	476	45.1	7.1	38.0	35.5	19.3	54.8
	輸送・機械運転の仕事	79	55.7	8.9	46.8	30.4	13.9	44.3
	建設・採掘の仕事	20	55.0	20.0	35.0	20.0	25.0	45.0
	運搬・清掃・包装等の仕事	274	41.2	5.8	35.4	36.9	21.9	58.8
	その他の仕事	382	50.3	10.5	39.8	36.6	13.1	49.7
現在の勤務先での勤務年数	5年以上10年未満	1890	51.4	8.8	42.5	34.0	14.6	48.6
	10年以上	2223	53.4	10.9	42.4	32.3	14.4	46.6
平均的な週の労働時間	20時間以上40時間未満	2325	57.4	11.1	46.3	30.8	11.8	42.6
	40時間以上	1788	46.0	8.6	37.5	36.0	18.0	54.0
会社にとって、非正社員は戦力であるという方針を持っている	当てはまる	866	67.6	18.9	48.6	22.9	9.6	32.4
	やや当てはまる	1595	59.7	9.5	50.2	31.6	8.7	40.3
	あまり当てはまらない	882	41.5	4.2	37.3	45.7	12.8	58.5
	当てはまらない	770	33.0	7.5	25.5	33.1	33.9	67.0

(注) 従事している仕事の中で、30件未満の仕事は分析から除外してある。